

第 331 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

主催 (公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

MS 及び LC/MS については、近年においても分離、分解能、感度に関する様々な技術革新が進んでいます。特に、バイオ医薬品研究及びバイオマーカー研究のための LC/MS 技術や、組織切片等の生体試料上の物質の局在を知るための MS イメージング技術等が注目されています。今回、MS と LC/MS に関する最前線の技術について、将来の可能性も含めて紹介していただきます。

期日 2019 年 1 月 21 日 (月) 13:00~17:00

会場 オルガノ (株) [東京都江東区新砂 1-2-8、電話: 03-5635-5191、交通: 東京メトロ東西線「東陽町駅」下車 (3 番出口) 徒歩 7 分]

講演主題 MS と LC/MS を巡る最前線!

講演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05) (第一三共 (株)) 合田竜弥

1. 新たなレベルのタンパク質構造分析 (13:05~13:35)

(サーモフィッシュャーサイエンティフィック (株)) 渡邊史生 (LC/MS 分析士初段取得予定)

2. 新たな分離技術への挑戦、イオンモビリティから FT-ICR まで (13:35~14:05)

(ブルカーージャパン (株)) 五十嵐太郎 (LC 分析士初段)

3. 高空間分解能質量分析イメージングについて (14:05~14:35)

((株) 島津製作所) 山本卓志

4. 高質量分解能 MALDI-TOFMS "SpiralTOFTM"によるイメージング質量分析 (14:35~15:05)

(日本電子 (株)) 佐藤貴弥

休憩 (15:05~15:30)

5. ウォーターズのアンビエントイオン化とイメージング MS の最前線 (15:30~16:00)

(日本ウォーターズ (株)) 寺崎真樹 (LC/MS 分析士初段)

6. 生体試料分析におけるイメージング測定の可能性 (16:00~16:30)

(味の素 (株)) 中山 聡 (LC 分析士初段)

7. 総括「MS と LC/MS を巡る最前線!」 (16:30~17:00)

(東京理科大学) 中村 洋 (LC 分析士五段、LC/MS 分析士五段)

参加費 LC 研究懇談会会員: 1,000 円, 協賛学会 (日本分析化学会、日本薬学会、日本化学会) 会員: 3,000 円、その他: 4,000 円、学生: 1,000 円。参加費は当日申し受けます。

申込締切後の参加費は、全ての種別で 1,000 円増額となります。

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します (会費: 4,000 円)。

参加希望者は必ず事前にお申込みください。申込締切後のご参加は、当日欠員が生じた場合に限って受け付けません。参加費は当日申し受けます。

申込締切日 2019 年 1 月 15 日 (火)

申込方法 参加希望者は、氏名、勤務先 (電話番号)、LC 会員・協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記のうえ、FAX または E-mail により下記あてにお申込ください。参加証は発行いたしませんので、直接会場にお越しください (定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号

(公社) 日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会

(電話: 03-3490-3351、FAX: 03-3490-3572、E-mail: kondankai-hp@jsac.or.jp)